

議員

## 「いごも園」土地問題で 意見をどう受け止めたか

町長

### 大きな反対はなかった

地ということ、あそこが適地と考えています。

議員

町民が町長に対して物を言うには遠慮がある。行政がいいというならしっかりとやりなさい、と言わざるを得ない。想像力をもって意見を聞くべきではありませんか。

町長

保育所の保護者とこれから利用する人たちとこれまで6回話し合いを持ちましたが、この土地はだめだという意見は全く出ていません。若いお母さんたちの集まりでは、こども園の建設を非常に楽しみにしていると聞いています。

議員

用地費と整備費を含めると1億円以上かかり、建設費など割高になると思われる土地にこだわる真意は何か。

町長

解体費を含め、平方メートル当たり1千円は安く、町並み再編等を考えると、丸玉産業新町工場跡地を最有力地と考えています。

議員

認定こども園の図面を描く前に、利用者、保育士、専門家等で、どういう施設が必要なのか、安全面などさまざまな角度から時間をかけて検討する会議を立ち上げ、情報を発信していつてはどうでしょうか。

町長

既に社会福祉協議会、保育士との協議を実施し、3つの保育所の保護者、次世代対象の保護者の懇談会を開催しています。さらに町民組織である



次世代育成対策協議会では、視察も含め3回の会議を開催しています。今後、青葉幼稚園との協議が整いましたら、保育士、幼稚園教諭、保健師など専門職による幼児保育、

教育目標を策定し、次世代育成対策協議会や保護者の方と協議を進めて、こども園の建設に向かっていくことを考えているところです。

議員

政府のこども園の基本は、保育料について自由価格にするたたき台を示しています。こども園でも現行保育制度の自治体責任、所得に応じた保育料金を明確にし、あわせて保育料の負担が増えることから、軽減策も検討していく必要があると考えますが、どのようにお考えですか。

町長

こども園では、直接契約方式となり、保育の公的責任を後退させると懸念されていますが、町の責任も持ちながら進めていきたいと考えています。

保育料は認可保育所になるので、国の徴収基準より安くした分は、運営補助金が減額されます。どの程度にするのかは、運営母体と協議しなければなりませんので、この先の問題としてあるという認識は持っています。

町長  
心配する意見もありましたが、今の最有力候補地について、大きな反対はないという印象を受けました。工場跡地なので、しっかりと調査もし、影響のないようにしてもらえばいいのではないかと、という意見も出ていました。地盤が悪いのは確かですが、技術も進んでおりますし、逆の発想で、水遊びのできる公園をつくることも考え、十分な敷

る次世代育成対策協議会では、視察も含め3回の会議を開催しています。今後、青葉幼稚園との協議が整いましたら、保育士、幼稚園教諭、保健師など専門職による幼児保育、

# 一般質問

山内 彬 議員

- 認定こども園について
- 町営バスの民営化計画について

議員

認定こども園の  
整備計画用地の判断は

町長  
丸玉産業新町工場跡地を  
最有力候補地



議員

認定こども園をテーマとして実施されたまちづくり懇談会を終え、整備計画や建設候補地をどう判断されたのか伺いたい。

## 認定こども園とは

幼稚園や保育所あるいは認可外保育施設のうち、就学前の子どもに教育及び保育を提供する機能と子育て支援を行う機能を備える施設（子育て支援センター）を認定する制度です。種類は「幼保連携型」「幼稚園型」「保育園型」「地方裁量型」があります。

津別町には保育所として認可外保育所の「津別保育所」「活汲保育所」「本岐保育所」があり、幼稚園は「学校法人津別大谷学園津別青葉幼稚園」があります。

町長

整備計画については、予算化の前に考え方を説明してきたことは初めてであり、また整備計画地は中心市街地の活性化も念頭に最有力候補地と判断をしました。

議員

最有力候補地としての判断説明があつたが、子どもの教育環境にふさわしいという項目が一つも無い。子どもたちが教育・生活を営む場として適地なのか伺いたい。

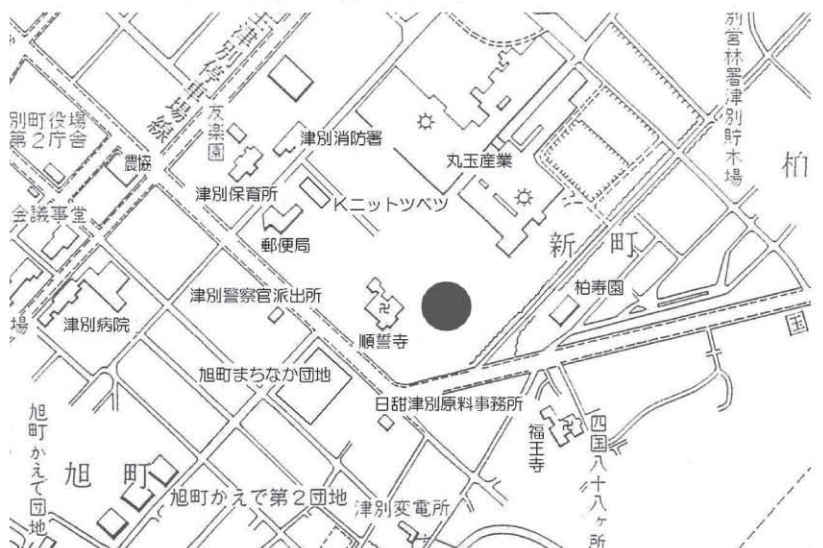
町長

総合計画の中でも、こども園と子育て支援センターの整備があり、総合的に判断すると適地ではないかと考えています。

議員

最有力候補地ということである決定はしていないようである

認定こども園の最有力候補地（●印）



ので、十分な検討をしてほしい。  
の程度進んでいるのか伺いたい。

町長

丸玉産業新町工場跡地が、最有力候補地だと判断しており、それで決まったということではないので、議会の中の議論を通じ意見交換をしていきたい。

議員

青葉幼稚園との協議は、ど

町長

青葉幼稚園との協議は5月から12月まで9回実施し、その内容について今返答を待っている状況です。

議員

認定こども園整備計画工程からすると非常に遅れているが、いつまでに解決したいの

# 一般質問



## 議員

### 町営バスの民営化は どうなるのか

#### 町長

平成24年10月から民営化へ  
移行していきたい

#### 議員

検討されてきた町営バスの民営化計画について、これまでの検討経過について伺いたい。

#### 町長

開成線については、北海道北見バスを事業者として運行する方向で協議を進めています。

相生線・上里線は、混乗ス

か伺いたい。

#### 町長

協議を進めていく上で、さまざまな交渉事項が開始している中で、一つ一つ丁寧に解決していきたい。

#### 教育長

学校の統廃合にはいろいろな課題や問題がありますが、認定こども園の建設にあわせ、今一度子どもたちのための教育環境を第一に考え、今後の教育委員会会議において協議をしていきたい。

の統廃合を、真剣に検討すべきと思うが考えを伺いたい。

### 混乗スクールバスとは

スクールバスに、一般の方も乗車するバスです。

### 町営バス運行の歴史

- 二又線 昭和45年8月～平成22年3月  
(現在は混乗スクールバスを運行)
- 恩根線 昭和46年6月～平成18年3月  
(現在は混乗スクールバスを運行)
- 上里線 昭和47年5月～  
(平成8年から民間委託で運行)
- 開成線 昭和48年5月～
- 相生線 昭和60年4月～

#### 議員

クールバス方式として、民間委託での運行を予定しています。

#### 議員

地域の説明会を実施したようであるが、相生線の混乗スクールバスが予約制になると、生活路線として高齢者などの利便性について配慮されるのかなど、心配があるので十分検討してほしい。

#### 町長

民間事業者と協議すること、はたくさんあり、詰めている最中ですので、時期を見て協

議内容について示すこととなります。説明会の中でさまざまな課題が出ていることも承知しています。乗車できる年齢制限の問題や乗車区域の問題、ダイヤ編成の問題、職員の処遇など今後十分検討し決めていきたい。

町営バス時刻表 (相生線)

北見方面行き (相生⇒津別⇒北見)

相生	6:20	7:25	8:30	9:35	10:40	11:45	12:50	13:55	15:00	16:05	17:10	18:15
津別	6:25	7:30	8:35	9:40	10:45	11:50	12:55	14:00	15:05	16:10	17:15	18:20
北見	6:30	7:35	8:40	9:45	10:50	11:55	13:00	14:05	15:10	16:15	17:20	18:25

※この時刻表は、年末年始(12/30～1/4)を除く日です。  
\*年末年始の運行時刻は、別表のとおり変更となっております。  
\*\*注:本表は、相生線のみです。

# 一般質問

篠原 眞稚子 議員

- 防災行政について
- 福祉行政について

議員

## 防災計画の見直しを されたのか

町長 初動体制、避難対策等  
全般の見直しを行う



議員 3・11東日本大震災以降、防災計画の見直しをされたのか。また、2次避難所の状況はどうなっているのか。

町長 24年度の機構改革にあわせて、災害対策本部の編成見直しが必要と考えています。これまでの防災訓練等で得た改善点なども踏まえて、初動体制、避難対策等全般の見直しを行います。

議員 避難所の耐震調査をしているか。

んが、各施設の実態を把握し問題点があれば改善します。

議員 災害物資の備蓄の状況はどうなっているか。

町長 津別小学校を除き、保管施設や管理上の問題から、2次避難所での備蓄は行っていませんが、林業研修会館で防災用品を保管しています。食料の備蓄も行っていないですが、防災計画の見直しの中で検討します。

議員 高齢者、障がいのある人の支援、避難所運営マニュアル

を作成しているか。

町長 災害時要援護者リストを毎月更新しながら、要援護者支援プランの策定作業中です。

現行の防災計画の避難対策計画の中で、避難所運営を定めています。より実態に即した実効性のあるマニュアルづくりを、先進地事例などを参考にしながら見直したいと考えています。

議員 防災教育について考えていることがあるか。

教育長 火災訓練を消防署員立会い

町長 長期間の停電は想定していませんが、停電時の対応、暖房関係についても、計画見直しの中で議論します。

町長 非常口、非常階段は消防による改善指導は特にありません。



# 一般質問

## 議員

### 介護老人福祉施設の不足を どう考えているか

のもと、年2回実施していま  
す。また、台風、吹雪などを  
想定した集団下校の必要性を  
説明し、災害に対する教育を  
行っています。

合、学校教職員のみでは対応  
できないことも想定し、関係  
機関と連携を図り、児童生徒  
の安全を確保し、安全に必要  
な知識と技術、判断力を習得  
させる教育を行っています。

## 町長

町外施設を利用する方向で  
考えている

## 議員

介護老人福祉施設の不足や  
中間施設のない状況について  
考えていることは何か。

た増床計画を検討する予定で  
す。中間施設である老人保健  
施設は、町外施設を利用する  
方向で考えています。

## 町長

特別養護老人ホームは、現  
在、民間への移譲を検討して  
いますが、27年度以降、個室、  
ユニット化への改築にあわせ

## 議員

団塊世代の高齢化に向けて  
の具体策はあるのか。

## 町長

団塊世代の対策としては、  
認知症高齢者に適している小  
規模多機能型居宅介護サービ  
スの開設に向けて、事業所の  
誘致を計画していきたい。

地域生活支援サービスの充  
実に向け、声かけや見守り、

議員  
3ワクチン（子宮頸がん、  
ヒブ、小児用肺炎球菌）につ

### 3ワクチンについて

道がありました。  
今後とも住民の生命と健康  
を守ることに配慮しながら、  
予防接種をはじめ各種事業に  
取り組んでいきたいと考えて  
います。

## 町長

国は、23年度まで市町村が  
行う事業に対して、2分の1  
を補助し、24年度においても  
事業の継続を決定したとの報

### 介護保険給付サービス

#### ・施設入所サービス

特別養護老人ホーム「いちいの園」

定員50人（介護老人福祉施設）

ケアハウスつべつ 定員30人（介護老人保健施設）

認知症高齢者グループホーム「ほのぼの」 定員18人

#### ・施設で行われるサービス

デイサービス（通所介護） 定員25人（1日）

ショートステイ（短期入所介護） 定員7人

### 町独自の施設

福祉寮 居室8室

### 高齢化率の推移（65歳以上）

平成2年 17.3%（総人口8,061人）

平成17年 33.6%（総人口6,222人）

平成23年10月末 37.9%（総人口5,666人）

平成26年（推計） 41.5%（総人口5,148人）

※平成2年、17年は国勢調査による。平成23年は住民基本  
台帳による。平成26年は厚生労働省の人口推計シートに  
よる。

# 一般質問

村田 政義 議員

○自治会区域の見直しについて

議員

## 自治会区域の見直しについて

町長 統廃合のルールを作り進めていきたい



議員

区長制から自治会に移行され30年を経過し、人口減や高齢化に伴い、自治会の統合や区域の見直しが必要との声もあり、その時期にきていると思うが考えを伺いたい。

町長

自治会統廃合の状況は昭和40年、50年の区制の時は町が主体となり実施していましたが、自治会制度移行後は自治会が主体に実施しています。

人口減、高齢化で役員のなり手がいない等、統廃合が必要だということも出てきています。統廃合に関するルールがなく、自治会連合会や町の立場が明確でないため、自治

会連合会、町による自治会統廃合ルール検討委員会を発足して、現在の区域を基本とし検討を進めているところで、年明けに基本的なルールを最終確認することとなっています。来年3月までに統廃合などの案件のある自治会について、自治会連合会、町で聞き取り調査を行い、今後一緒にやるか、あるいは新設含め協

議をし、進めていくこととなります。

議員

過去の統合に関しては、自

### 自治会組織

昭和56年4月1日に「自治会」が発足。それまでの町が任命した区長を中心とした町内会活動から、住民の自主性と住民本位の活動を行う自治会制度へ移行しました。

発足時は52の自治会がありましたが、これまでに栄自治会と恩根第2自治会が統合、恩根第2自治会と恩根第3自治会が統合、活汲第2自治会と活汲中央自治会が統合し、現在は49の自治会組織があります。

町長

自治会主体で実施された経過もありますが、自治会同士となればいろいろな問題も生じ難しい面もあり、町が主体的に進めていく必要があると考え

区域については、今の区域を基本とし宅地開発または住宅建設が2つ以上にまたがる場合等、新設含めその自治会との協議や自治会の統廃合についても、関係する自治会と協議をしながら進めていかれると考えられますが、町としてもその中でしっかりと関わりを持ち、進めていきたいと考えています。



議員

## 機構改革に伴う人事管理のあり方について

### 町長 職員人材育成基本方針に基づき取り組む



力の形成を図っていきたい。

議員

評価ルールの検討や導入の考えはあるのか。また、職員のやる気を持たせるため、競い合う気構えを引き出すようにされたい。

町長

人事評価制度の導入には制度理解が先決で、2年にわたる人材育成を重視しました。職務評価により人の優劣や給料差がでますが、今は格差でなく資質の向上に重点を置いています。

議員

年功序列や自動昇給の実態や見直しは。

町長

19年度に国の基準に基づく新給与制度に移行し、職務・職責に応じた給与構造に転換

し、給料を決定しています。

議員

希望等による降格降給の実態や、職務職責に耐えられない人の降格降給の道を考える時期ではないか。

町長

現在、希望降格制度は導入していませんが、この課題は問題なので、制度化については検討させていた、だきたい。

議員

人事管理や職制登用の基本的な考え方は。

町長

管理職による課内の人事聴取を行い、適材適所の配置に心がけています。また管理職の登用は、職務の取り組み姿勢やリーダー制を総合的に判断し行っています。

議員

処分を受けた者の給料延伸の実態はどうか。

総務課長

懲戒処分で戒告以上の者は延伸をしています。

議員

窓口による町民への対応を改善すべきではないか。

町長

接遇研修等で職員に度々訓示していますが、非礼な職員は名前を教えてもらい改善を図りたい。

議員

再雇用のルールや外郭団体への再雇用の進捗度は。

町長

定年者の再雇用は原則1年とし、来年4月から実施予定です。再雇用職場は、専門的知識のポストと、町関連法人は当面、津別町振興公社や社会福祉協議会です。また雇用のルールは、今検討中です。

議員

外郭団体の町にかかわる重大な案件は契約上、指導助言、協議の条項を明記すべきではないか。

町長

特別な事案は、指導助言を含め対応する考えです。

町長

職員の能力向上のため専門的な政策形成、柔軟な対応能

議員

立派な機構を作っても、意欲で職務の良否が決まるので改革が必要ではないか。

町長

平成12年策定の職員人材育成基本方針に基づき、人を育てる研修に取り組み中です。

議員

現・行政機構は新年度から第二次改革が始まるが、組織活力は人と機構の醸成が大事と思われませんが、人材育成の具体的な方策や方法は。